



文 武 両 輪

ぶん ぶ りょう りん
～勉強も行事も部活動も～

令和5年11月17日

【文責】校長 蔦川 誠

地域の企業や大学の魅力を知ろう

11月9日(木)、2学年で地域の企業や大学の見学会を実施しました。地域の企業や大学の魅力に触れること、実際に見学することで進路に関する考えを深めることの2つを目的とした活動でした。

NPO法人RENから3名の方と2学年職員が引率して、旭光通信システム(1組)と北日本造船豊洲工場(2・3組)及び八戸工業大学(全学級)を訪問してきました。八戸工業大学では昼に学食体験を行い、その後工学部の電気電子通信・生命環境科学・建築土木工学の各コースの体験講義を受講してきました。

学校から離れて将来の進路を考える貴重な体験をすることができたとともに、地元の企業や大学の魅力をたっぷりと感じることができたものと思います。

代表生徒の感想を紹介します。



2年1組 松井 奏介

僕は、大学での講義の50分間が一瞬の出来事のように思いました。なぜかという、それは全てがおもしろかったからです。特におもしろかったのは、液体の牛乳が固体に変わるまでの過程です。酵素がカゼインを切り取り、それを助ける乳酸菌、この2つがとてもロマンティックで興味を惹かれました。5kgのチーズが1年もかけてじっくりと熟成しているのにとっても驚きました。今回の体験を経て、自分の仕事を見出すことができたかもしれません。将来は食品関係の仕事に就こうと思いました。

2年2組 根石 唯令

初めて大学の講義を受けてみて、スライドの速さに驚きました。中学校とは違って黒板ではなくスクリーンで授業をしていて、次の場面に移ってしまうとノートを書き終えることができなくて大変だなと思いました。でも、授業は楽しかったです。普段味わえない特別感を味わうことができました。また、大学構内の部屋の多さと広さにも驚きました。トイレに行くだけでも迷子になりそうでした。学食も注文してから出てくるのが早くて、しかも安くおいしかったです。今回の見学を生かし、自分の入りたい大学を見つけたいと思いました。

2年3組 西塚 百花

八戸には北東北最大の企業があると知って驚きました。その北日本造船では、オーダーメイドで船を造っていて完成するまで何年もかかると知り、すごいと感じました。見学中もずっと作業の音が聞こえ、間近で船を造る作業を見ることができてよかったです。薬などを運ぶ船は北日本造船が造ったものと知り、感心しました。また、完成した船に乗ることができてうれしかったです。船の上から見る景色はとてもきれいでした。何年もかけて丁寧に造られるものだから、価値も高くなることを実感しました。

(一部抜粋・修正は筆者)